

4/24 東京2020オリンピック聖火リレー



東京2020オリンピック聖火ランナー 石井幸美さん

東京2020オリンピックの聖火リレーが九重町（飯田：釜の口～大吊橋北方）にて行われました。九重町では6名の聖火ランナーが聖火リレーを行いました。

また、このえ緑陽中学校の吹奏楽部が「ワシントンポスト」「学園天国」を九重「夢」大吊橋で演奏しました。

4/30 女性が輝き働きやすい職場に



（左から）日野町長、鷺頭洋子さん

令和2年度「大分県女性のチャレンジ賞」を受賞された鷺頭洋子さんが、町長に受賞報告に訪れました。鷺頭さんは6次産業に先駆けて取り組まれてこられたほか、育児休業制度の活用やシーズンオフの長期休暇導入をする等により、女性が働きやすい職場づくりを積極的にされたことが認められ受賞されました。



「山の日」とは？～九重町と「山の日」の関わりについて

山の日制定から大分県で全国大会が開催されるまで

令和3年8月、第5回「山の日」記念全国大会が九重町で開催されます。そこで今回は「山の日」について紹介します。

2014年、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝するという趣旨で8月11日が国民の祝日である「山の日」に制定されました。その翌年の2015年8月11日には「山の日」の制定を記念して、『山の日』制定記念祭 in 大分・くじゅう」と題した記念式典及び関連行事が九重町長者原を中心に開催されました。記念式典には、全国「山の日」協議会会長である谷垣禎一氏をはじめ、様々な方が来賓として訪れ、歌手の芹洋子さんと地元住民による「坊がつる賛歌」の合唱も行われました。

「山の日」が制定されて以降、2016年から毎年全国大会が開催されています。前回の第4回大会は山梨県で開催され、第5回開催地である大分県へ引き継がれました。

いよいよ、今年は大分県（九重町）で全国大会が開催されます。大会テーマは「山に遊び 恵みをいただく～おんせん県おおいたの山と人の絆を未来へ～」となっています。大分県の山の魅力とともに九重町の魅力を全国に発信し「おおいたらしさ」を感じることができる大会とします。



第5回「山の日」記念全国大会 おおいた2021

テーマ

山に遊び、恵みをいただく
～おんせん県おおいたの山と人の絆を未来へ～

- ◆8月11日（水）
午前 記念式典・記念行事
（場所：九重文化センター）
終日 歓迎フェスティバル（場所：長者原園地）
- ◆8月11日（水）・12日（木）
エクスカージョン（場所：九重町・竹田市）

※オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、2021年の山の日（祝日）は8月11日から8月9日に移動となりましたが、大会は8月11日の開催となります